

令和2年度第1回三重県食の安全・安心確保のための検討会議

日 時：令和2年7月31日

場 所：津市橋北公民館 研修室A

出席委員：8名（欠席者2名）

会議の公開：会議は公開開催（傍聴者：0人、報道関係者：0人）

1 あいさつ（県農林水産部 次長）

2 開会

3 委員の紹介

（県）検討会議委員の紹介及び辞令書の交付（欠席者についても所属や名前等を紹介）

4 事項

（1）食の安全・安心の確保に関して実施した施策に関する年次報告書（令和元年度版） （案）について

（県）資料1、資料2に基づき概要説明

質疑の概要

（委員）この年次報告書、資料1、資料2はどなたが読まれることを想定して作成していますか。

（県） 広く県民の皆さんにご覧いただくことを想定して作成しております。本日審議いただいた後、三重県議会定例会に報告するとともに、県ホームページにて公開いたします。また、当該年次報告書の冊子については、委員の皆様や御用命をいただいた皆様方に配布しております。この他、三重県では、年次報告書の監視指導の部分を食品監視指導計画や農畜水産物監視指導計画として取りまとめております。

（委員）年次報告書を読んでいく際に、CSFなどの言葉がいきなり出てきて、冒頭で詰まってしまいました。巻末に用語解説はあるのですが、一般の方が読まれるのであれば、簡単な説明が冒頭にあったほうが読みやすいと思いました。

（県） アスタリスクなどを付けて、巻末の用語解説を見ていただけるようにしておりますが、まだまだ配慮が行き届かないところもあると思いますので、より工夫をさせていただきます。

（委員）用語解説が長文になるため、巻末に持っていかれているのは分かるのですが、もっと短い文章で解説を入れられるといいかなと思います。

(県) わかりました。特に当年度から初めて出てくる用語については、用語と同ページの欄外下部に分かりやすく表記するなど、これからさらに工夫させていただきます。

(委員) G A P 食材フェアという言葉が、多く出てきたのですが、県ホームページを見ても、三重テラスで何回開催したという程度の情報しか出てきません。「食の安全・安心ひろば」(食の安全・安心班が所管するホームページ)の方には載っているのかもしれませんが、どの様なことを行ったのか具体的に教えてください。

(県) 「食の安全・安心ひろば」には、詳しく掲載しておりません。

(県) どの様なことを行ったかについてですが、首都圏では、先程お話しいただいたとおり三重テラスで開催した他、オテル・ドウ・ミクニや社員食堂など様々な場所でG A P 食材に関する啓発活動をさせていただいております。また、県内ですと、マックスバリュやイオンモール、マルヤス等に出かけていき活動をさせていただいております。

(委員) 食材を販売されるのですか。

(県) 米についてはおにぎりの試食を行うなど、イベントを開催させていただきました。お客様に、G A P 食材をご存じですか、といった聞き取り結果のシールをボードに貼るなど、消費者の皆様がG A P 食材を知るきっかけとなるよう、活動しました。

(委員) お子さんが作られた朝食メニューのコンクールなど、その他様々な県の取組については、県ホームページに掲載されていますが、G A P 食材フェアだけは詳細が掲載されていませんでした。G A P 食材については、三重県でも認知度が低いということですので、載せていただけたらと思います。今、新型コロナウイルス感染症の影響で、県民の皆様の食への関心が高まっているので、G A P 食材についても見る機会が多いと思います。今がチャンスですので、三重県民にどんどん知らせていただきたいと思います。

(県) ご意見ありがとうございます。

(県) G A P 食材の情報発信について補足します。G A P 食材に関連する記事を農産園芸課が作成されましたら、「食の安全・安心ひろば」にもリンクを貼るよういたします。去年のG A P 食材フェアにつきましては、県ホームページには掲載しておりませんが、食の安全・安心班の所管するフェイスブックには掲載いたしました。まだまだ情報発信が不足しておりますので、強化していきたいと思います。

(委員)他に、ご意見、ご質問はないでしょうか。ないようであれば、「食の安全・安心の確保に関して実施した施策に関する年次報告書（令和元年度版）」については、本日の会議での意見等を受けて、事務局で検討し、とりまとめ、公表に向けて事務手続を進めるようお願いします。

(2) 令和元年度食の安全・安心確保に関する施策(令和2年度三重県食の安全・安心確保行動計画)について(報告)

(県)資料3に基づき概要説明

質疑の概要

(委員)三重県栄養士会の栄養相談につきましては、新型コロナウイルス感染症の話がありますので、面談ではなく電話相談といった形態をとっております。このような食の安全・安心に関わる相談の窓口についても、何か対策をされていますか。

(県) 県民からの食の安全・安心に関わる相談につきましては、当課が窓口となり、常時電話にて受け付けております。どこまで、すぐさまお役に立てるかどうかわかりませんが、もし何かご用件がありましたら、ご連絡なり、お声がけをいただけたらと思います。電話番号につきましても、県のホームページにて公開しております。

(委員)GAPについては、三重県の認証ではないので、県が認証シールを発行しているわけではありませんよね。

(県) 国際水準GAPには、JGAP、ASIA GAP、グローバルGAPと3種類ございます。JGAP認証を受けた農場の生産物には、農場の認証番号またはバーコードが印字されたシールなどが貼られている場合がございます。他、商品に認証シールが貼られているとすると、GAP認証ではありませんが、安心食材のマーク（人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度）が貼られていることがございます。

(委員)基本的方向2に関連しまして、食品生産に携わる弊社では食品安全研修を年2回ほど実施しております。これまでは講師を招き講演いただいていたのですが、オンラインで動画を配信いただければ、聴講者は好きなタイミングで何度も視聴でき、大変効果的だと思います。雇用経済部の方で、旅館関係の動画（海外向け観光プロモーション動画）を配信されていますので、その様なことをしていただけたらなと思います。

(県) 食品の安全性や表示について、従来の対面での研修ではなくて、オンラインの

研修を考えていただきたいというご意見と受け止めさせていただいてよろしいでしょうか。

(委員)そうですね。食品表示もそうですし、5S6Sといった基本的な衛生管理や食中毒の影響などについて、本当に簡単な動画をお願いしたい。

(県) 食品安全課は保健所も含めて、食品衛生や表示関連の講習の依頼があれば、現地に行って対応しているところですが、これを、オンラインで実施したいという依頼があれば、検討させていただきたいと思います。通常、講習会では、聴講者の雰囲気や反応を見ながら、説明の仕方や内容などを工夫するといったことができますが、オンラインであれば、いかに聴講者に伝わりやすい説明ができるかが課題になるのかなと思います。

(県) 県庁自体もオンラインやテレワークが始まったばかりで、特にテレワークについては民間企業より遅れている状況にあります。このような状況で、そういった動画配信を各課どの様な形で実施するのか、手探りで研究や検討を始めているところですが、皆様の御要望に応じて、これからの生活様式も踏まえて、検討していきたいと思います。当課でも年一回コンプライアンス研修を開催しており、今年どの様な形で実施するか検討しているところですが、これまでは東京から講師に来ていただいていたのですが、今回は東京からのネット中継にしたいと考えております。また、同時中継ではない動画配信については、これから国省庁と調整しながら進めていきたいと思っております。

(委員)三重県漁業協同組合連合会です。水産分野の現状についてお伝えします。食品衛生法が改正され、産直市場など生産現場では、既に水産庁の策定したマニュアルに基づく衛生管理に取り組んでいるところですが、今後は「HACCPに沿った衛生管理」に取り組もうとしていますので、三重県漁業協同組合連合会としても益々支援していきたいと考えております。また、水産の生産現場において、天然と養殖、それぞれにいくつか認証制度があります。日本では、このうち大きく2種類の国際認証の取得が進んでいると思っております。連合会もできる限りの推進を行っております。ただ、生産される方と我々取り扱う側、最後店舗とそれぞれが取り組むような形ですので、互いに協力していく必要があります。三重県の水産業者さんは比較的小規模な方が多いので、どの様な体制で構築していけばいいか検討しながら、推進してもらっているところですが、それから、食の安全・安心から離れた内容となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を漁業の世界も大きく受けておりました、全体的に需要が減少しております。特に、養殖業真鯛や天然活魚は大きな影響を受けております。このようななかで、学校給食の取組など、県より様々な協力をいただいております。ただ、給食で扱ってもらう魚、形と、三重県の産地で水揚げされるものと、要望と生産物に差がある状況ですので、

県と連合会が共に様々工夫することで、今困ってる生産現場の方々を支援していきたいと考えております。

(県) HACCP関係につきましては、水産関係課からも支援しておりますが、農産物安全・流通課からも昨年は卸、仲卸、三重県漁業協同組合連合会等に対し5回ほど研修会を開催し、今年は相談など個別に対応を続けていきたいと思っております。また、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたので、水産関係課と農産物安全・流通課が連携し、水産市場を対象としたHACCPを伴う衛生管理の一部補助をさせていただきました。

(県) 学校給食についてですが、三重県は国の事業を活用して県産の牛肉、熊野地鶏、水産物、真鯛やマグロを学校給食に活用していただく取組を進めております。県内には15万人ほど給食を食べる児童がおりますので、その皆さんに県産のものを提供しようと、市町の学校給食の方とあるいは学校の方と調整に入っているところですが、一部学校給食には、これまで、給食費用を抑えるため安価なものを使えないかという観点がありましたので、調整に手間取っておりますが、可能な限りすべての市町の学校に活用いただこうと、現在取り組んでいるところです。

(県) 新型コロナウイルス感染症に関連しまして、ECサイトを開設して、様々な商品をネット販売しております。関係するイベントやフェアを「食の安全・安心ひろば」やフェイスブックで積極的に発信していきたいと思っております。

(委員) コープみえは、毎年「商品・くらしの活動交流会」を開催し、県の関係部署にもご協力いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は中止となりました。コープみえでは、子供たちの食育に力を入れておりますので、今年は子供たちがお家で料理する機会が増えたということで、旬の食材、野菜を使った料理、今でしたら夏の野菜を使った料理のレシピを募集する形で、子供たちと一緒に食を学んでいます。県の方でも、朝食メニューコンクールといったイベントを今年も実施されるようですが、何か一緒にできたらと考えておりますので、是非よろしくお願ひします。

年次報告書に書いてあります消費者懇談会や意見交流会についても、新型コロナウイルス感染症の影響で形を変えて実施されると思っておりますが、是非そういったイベントをたくさんしていただいて、消費者の意見を聞いていただきたいし、情報をたくさん発信いただきたいと思っております。

一つ気になることがありまして、資料には出ておりませんが、人に伝染する豚インフルエンザが発生したとか、シベリアで38度も気温が上昇したことで氷河が解けて新たなウイルスが発生するかもしれないなど、おそらく今月の新聞に出ていたのですが、それ以降情報があまりないので、関連する情報があれば教えていただきたいと思っておりますし、出た時に迅速に情報発信していただきたいと思っております。

(県) コープみえとは、昨年度にも研修会を共催させていただきました。ありがとうございました。今後につきましては、どのような形で開催するかも含めて、事務局レベルで相談して進めていきたいと思っております。レシピ募集などイベントにつきましても、例えば当課で情報発信の協力をさせていただくなど、しっかり対応していきたいと思っております。

(県) 豚インフルエンザについては、国内では問題になるほど発生は広がっていません。日本では、殺処分等の措置を行うことはありません。一般的に、豚のインフルエンザは人と抗原性が似ているためよく取りざたされますが、日本にはワクチンもありますし、農家さんによっては既にワクチン接種しているところもあります。現状においては危機迫った状況ではありません。

(委員)その他にございませんでしょうか。では、「食の安全・安心確保に関する事業」については、本日の検討会議での意見を踏まえて、今後の事業を進めていただくようお願いします。

(県) 計画以外のことも含めて、貴重なご意見ありがとうございました。検討中ばかりでなく、反映できるものは反映できるように、しっかり対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。本日以外にも、ご意見等ございましたら、いただきたく思います。ありがとうございました。

(委員)全体通して、食の安全・安心に関するご意見、ご質問などございましたら、ご発言願います。無いようですので、事項の3つ目として、その他がありますが、事務局から何かありますでしょうか。無いようですので、これをもちまして本日の検討会議の審議を終了いたします。委員の皆様方には、熱心なご審議を賜り、数多くのご意見をいただき、ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

閉会あいさつ（県農林水産部 次長）

～終了～